

やさかだよい 11 No.93

八坂地域づくり協議会

<https://www.shinshu-yasaka.com>

2022年（令和4年）11月1日



小学校高学年の組体操（関連記事：6頁）

11月号の記事

地域づくり協議会の活動から	2～3
八坂診療所長から	4
敬老会中止について	4
地区の活動から	5
保育園	5
八坂地区ふれあい運動会	6
コミュニティ・スクール	7～8
八坂中学校	9
山村留学の風	9
きりり話題の八坂人	10



中学校やまびこ祭（関連記事9頁）

八坂地区の人口：750人
（男 376人・女 374人）
八坂地区の世帯：357世帯
（令和4年10月1日現在）

地域づくり協議会の活動から

期 日	区 分	内 容 等
9/8	・ 第 1 回八坂地区文化祭実行委員会	
9/13	・ 第 3 回やさかだより編集会議	やさかだより 11 月号編集会議
9/14	・ 大町建設事務所・犀川砂防事務所 陳情活動	正副会長、諏訪県議同行
9/26	・ 第 2 回八坂秋まつり実行委員会	・ 八坂秋まつりの開催内容について
9/28	・ 長野国道事務所信州新町出張所 陳情活動	正副会長、野平・舟場自治振興会長
10/6	・ 第 2 回八坂地区文化祭実行委員会	
10/13	・ 第 1 回八坂地域自治組織見直し 検討部会	
10/18	・ 第 2 回地域振興部会	八坂ビューポイント整備について
10/22	・ 藤巻建設太陽光発電施設竣工式	正副会長、大平自治振興会長
10/26	・ 第 3 回八坂地域づくり協議会	・ 八坂ビューポイント整備について ・ 先進地視察について
10/29	・ 八坂秋まつりの開催 (八坂小学校グラウンド)	

八坂地域づくり協議会 陳 情 活 動



大 町 建 設 事 務 所



長野国道事務所信州新町出張所



犀川砂防事務所

9月14日（水）に大町建設事務所・犀川砂防事務所に対して、陳情活動を行いました。当日は諏訪県議にも同席をいただき、施設の改良や維持修繕箇所をまとめた要望書を手渡しました。また、28日（水）には長野国道事務所信州新町出張所に対して、陳情活動を行いました。当日は正副会長の他に、野平・舟場の両自治振興会長も出席し、国道19号の改良等について要望しました。

八坂地区自治組織見直し検討部会が発足しました。



10月13日(木) 第一回八坂地域自治組織見直し検討部会が開催されました。各自治振興会から選出された委員に加え、地域づくりの協議会から竹本副会長がオブザーバーとして参加します。地域づくり協議会北澤会長より委嘱状が手渡され、委員長には久保剛さん、副委員長には黒田知子さんが選出されました。

当日は、八坂地区の現状と自治組織についての説明があり、今後八坂地域の組織の在り方について検討していただきます。

地域支え合い事業「おでかけサロン」



9月のおでかけサロンは小菅集会所を訪ねました。小菅は今回2度目ですが楽しいひと時を楽しみました。お茶を飲みながら昔の話を楽しみ、小さい頃は井戸から水くみをして両親のお手伝いをしたことや学校ハストープの焚き付けを毎日持って行ったこと、給食ではなくお弁当を持って行き、麦の混じったお弁当を友達と仲良く分け合ってたことなど懐かしくお聞きしました。その後は吉原光代さんの読み聞かせを楽しみましたがお話は大町の民話で地域の方言も交えた読み聞かせに皆さんは聞き入っていました。楽しい時間はすぐに過ぎて名残惜しくまた開催することを約束して解散となりました。

9月3日(土) ぼくらの市民活動フォーラムが開催され、八坂地域づくり協議会はパネル展示で参加し、団体発表では八坂中学校の生徒さんが「やさか人間塾」と題してリモートで発表を行いました。

また笹尾の深澤勝敬さんは「チャンスボール普及会」のブースで、チャンスボールの普及に努め、お子さんたちや若者に人気でにぎやかな笑い声に包まれました。

市民活動フォーラムに参加しました。



新型コロナウイルスワクチン接種による生活の変化

八坂診療所 所長 戸部道雄



先月、WHO が新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のパンデミックに収束の光が見えてきたとの明るい発表を全世界に向けて行いました。約 3 年に及んだ感染症もあと暫くの辛抱です。この背景には、感染症に対する行動制限があったことはもちろんですが、ワクチン接種による集団免疫の全世界的広がりも重要な要因です。

皆さんにワクチン接種を是非行って頂きたくワクチン接種の有効性、安全性をお話しします。

ファイザー社製のワクチンは世界中の 43,000 人を対象に有効性が試験されました。この試験では、ワクチン接種後の発病者は 5% で、95% が発病を防ぐことが証明され、重症化の防止も実証されています。

ワクチン接種は昨年 4 月から始まりました。診療所では延べ 992 名に接種を行いました。接種後にお渡しした副反応調査票の結果を報告します。まず副反応「あり」は 69.7% で、若年層ほど高率でした。副反応の内訳は中等度以上の「痛み」49.3%、内服を要した「発熱」10.7%、「頭痛」7.9% で大部分が接種部位の短期間の痛みで、重大なものは生じませんでした。ワクチン接種による抗体の獲得は、感染時の重症化、後遺症の予防のみならず、集団免疫による感染拡大の防止に是非とも必要です。八坂で生活していれば感染のリスクは少ないとの意見を耳にします。病原菌は海を越えて日本へやって来ました。国内どこであっても感染の危険はあります。それが感染症の恐ろしさなのです。

COVID-19 の世界的流行により私たちの生活は一変しました。かつて中世ヨーロッパを襲ったペストは、その後ルネサンス期に向かいました。19 世紀初頭のコレラのパンデミックはイギリスを中心に産業革命をもたらしました。20 世紀のスペイン風邪は近代科学を大きく進歩させました。その後半世紀で、人類は月面に到達しました。COVID-19 後の世界はどうなるのでしょうか。伝統、学術、教育文化などの「統合知」による新しいまちづくり、地域づくりを行って、子供たちが安心して暮らせる明るい未来を期待します。

八坂地区敬老会式典行事の中止について

例年 9 月に開催しております「八坂地区敬老会」につきまして、3 年振りに高齢者の皆様に顔を合わせる機会を提供したい意向で、9 月中旬若しくは 11 月上旬のどちらかの日程で開催する方向で進めて参りましたが、新型コロナウイルス感染の終息が見通せない状況にあることから、中止することといたしました。大変残念ではございますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

なお、敬老会にご招待する予定でした皆様には、冊子と記念品をお贈りする予定です。

八坂地区敬老会実行委員長 大日方 宗仁



一の瀬地区秋の例大祭

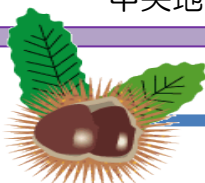


9月4日(日)、一の瀬地区の諏訪神社にて祭事が執り行われました。一の瀬地区ではコロナ禍となってからも、毎年欠かさず執り行われています。

一の瀬地区には亀神社(松井まき)と、諏訪神社(勝野まき)の2つの社があります。今から10年くらい前に神社合祀され現在にいたります。

この日は祭事の間、お天道様が顔を出し、同時に雨が降るという不思議な天気でした。私には、それは氏神様方がお喜ばれになったサインの様に感じました。これから先どんな時代も、先人の方々への感謝、神々への感謝を忘れず、全ての命をリスペクトし希望を持って気楽に今を楽しんで生きていきたいものです。

中央地区編集委員 遠藤由章



たけのこ保育園

～収穫の秋～



稲刈りをしました！
保育園の小さな田んぼで育てた稲が実り、みんなで稲刈りをしました。担任から稲の持ち方、鎌の使い方方を教えてもらい、順番に稲刈りに挑戦してみました。稲刈りを初めて経験するお友だちがほとんどでしたが、真剣な表情で、教えてもらった通りに稲をつかみ、鎌も上手に使いこなして稲を刈ることができました。稲を束ねることは難しそうでしたが、はげかけもし、みんなで一仕事頑張りました！食べられるまであともう少しですが、一粒一粒を大事に美味しく食べられたらと思っています。

さつまいも掘りをしました！
土の中から頭をのぞかせたさつまいもを見つけると、「あつた！」とお芋の周りを掘る手もスピドアップ！大きなお芋が出てくると、「見て！おっきーい！」とびっくりしたり喜ぶ様子が見られました。色々な形を見て、子どもたちからは、つながったお芋は「パパとママのお芋！」丸いお芋が隣どうしで繋がっているお芋は「おっぱいみたい！」と、様々な声も聞かれ楽しいさつまいも掘りになりました。畑からのお芋運びも力を合わせて頑張りました！掘ったお芋は、お昼の豚汁に入ってもらいみんなで味わいました。ほくほく甘くて、子どもたちもおかわりをしてよく食べていました。



八坂地区 ふれあい運動会

九月十七日に予定していた八坂地区ふれあい運動会は、小学生に体調不良の子どもたちが増えてしまったため、関係者で相談して十月に延期することになりました。予定していた十月八日も天候不良により、翌九日に延期して実施しました。残念ながら、計画していた地域種目はできなくなっていましたでしたが、たけのこ保育園、八坂小学校、八坂中学校の子どもたちで元気に競技種目や表現種目を行いました。

コロナ禍以前から、保育園と小学校、地域の皆さんとのつながりを大事にしてきたふれあい運動会、小中一貫教育という新たな側面も踏まえ、少しずつ以前のような賑わいに戻りつつある今年の運動会でした。

二度の延期にはなりましたが、実行委員やPTAの皆さんのご協力により、無事に運動会を実施することができました。お陰様で、小学生もきりっとした表情で、それぞれの競技種目や係活動に一生懸命取り組むことができました。改めまして、皆さまに感謝申し上げます。



ソーラン節 2022（低学年表現）

1年は可愛らしく、2年は堂々と、3年は手足の指先まで気持ちを込めてみんなで心をあわせて踊りました。



組体操（高学年表現）

「なりたい自分に向かって成長する」というテーマのもと、1人から10人以上で構成される16種類もの演技に真剣に取り組みました。フィナーレでは八坂の自然、人々、家族、友だちに支えられている思いを皆で表現しました。手足の指先にまで気持ちを集中して表現する児童の姿はとても見応えがありました。

綱引き

3年ぶりの綱引き、小学生、中学生が紅白に分かれて力を出し切りました。結果は一勝一敗。両校の校長先生の采配も見事でした。



今年度も、ひとりひとりが力を出し切り、仲間と協力して創り上げる運動会にすることができました。ご来校いただいた皆様から、心温まる拍手をたくさんいただき本当に感謝の気持ちでいっぱいです。お支えいただいた多くの方々に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。



小学校の活動 郷土ふれあい体験学習

10月1日（土）秋晴れの中「第3回郷土ふれあい体験学習」をPTA、公民館、学校の三者共催によるコミュニティ・スクールの行事として開催しました。学校支援ボランティア、老人クラブ、八坂元氣会、地域から講師として昨年の17名を上回る22名の方々にお願いいただきました。山村留学センター職員3名と中学生のボランティアも7名（中3（2名）、中2（4名）、中1（1名））参加してくれて、一緒に楽しみながら、時には小学生にアドバイスしていただきました。

昨年からコロナ予防と円滑に行事を進めていくため、始まり、終わりの会を小学校とアキツホールに分かれて、オンラインで行いました。

体験学習は6つのブース、「竹細工」、「灰焼きおやき」、「木工細工」、「木工ラフト」は小学校、「わら細工」はアキツホール、「そば打ち、そば薄焼き」は体験館でそれぞれおこないました。



小学校とアキツホールに分かれてオンラインによる始まりの会の様子



わら細工
りました。講師の方に優しく丁寧に教えていただきました。この世に一つしかない作品が出来上がりました。今年からわらぼうきを作成しましたが、参加者からとても評判が良かったです！



竹細工
的当てや、竹とんぼ飛ばしを行いました。竹とんぼを作り、竹とんぼの玉としてどんぐりを使用したり、竹の棒を玉として使用しました。

灰焼きおやき中学生が2名お手伝いに来てくれて、いろいろドラム缶で灰焼きおやきを作りました。今年は、ドラム缶での灰焼きおやき作りも好調で、山村留学センター職員は、



汗だくになりながら、時につまみ食い（笑）しながら、火の番と焼きの手伝いをしていたきました。

そば打ち学校支援ボランティア講師の他に昨年に続き、八坂元氣会から6名来てくださり、マンツーマン指導に近い指導を受け、細かい所まで丁寧に教えてもらいました。一点を見つめる姿は、超真剣でした！



今年新ブースの「木工」は、「木工細工」と

「木工クラフト」2ブースに分かれて行いました

木工細工 バードコール、小枝の色鉛筆、お箸、バターナイフ、けずり馬など作成しました。山仕事創造舎から3名が、分かりやすく作成写真



を用意してきてくださり参加者は、想像しながら時に首をかしげながら集中して作成していて、出来上がった時の喜びの笑顔が印象的でした。

木工クラフト 八坂小中学校OB保護者に講師として来ていただき、久しぶりの学校に懐かしい思いだったようです。2種類のバズルを用意していただき、親子で2種類の違うバズルを作成し、



こちららとお互いを気にしながら（どちらかという両親が…）黙々と作業を進め、時に会話を交えながら楽しまれました。

みなさんの感想をご紹介します

小学生

○弓矢を作って、少し工夫したただけですごく飛ぶようになりうれしかった！

○おやきを作って、楽しかったです！灰焼きおやき、おいしかった！

○そば打ちに参加して、講師の方のおかげでそばらしく？できて、またやりたいと思いました。

○わら細工は、マンツーマンで教えてくれたので、細かい所まで丁寧に作れてよかったです！

○バードコールを作り、鳴って安心した！いろいろな作れて楽しかったです。

保護者

○竹細工に参加し、子どもと一緒に作る機会をいただきありがとうございました！

○おやき作りに参加し、いろいろが学校にあることやドラム缶でおやきを作るなんて驚きました！これからも、おやき作りにチャレンジしていきたいです！

○わら細工は難しい箇所もあり、悩んでいた講師の方が優しく教えてくれて、出来上がった時にはとても嬉しかったです！

○そば打ちは、見た目より難しかったです、何とか出来て良かったです。

中学生

○灰焼きおやきを手伝い、最初から教えてもらえてよかったです！出来上がったおやきは、とてもおいしかったです！灰焼きおやき美味しかったです！

○パズルに色を塗る時に小学生にアドバイスしてもらいました笑小学生と地域の方々などと交流出来る機会は、とてもこの八坂にとって大切な行事だと思いました！

生徒会長の吉田龍馬さんのあいさつが
とてもすばらしかったので、ご紹介します

八坂中学校 やまびこ祭

Sky is not the limit ～さあ、光輝く未来へ進め～

第46回やまびこ祭が近づいてきています。新型コロナウイルスの感染拡大の中でやまびこ祭を行えることは、地域の方々や、保護者、先生方のおかげだと思い、とても嬉しく思います。今年度の生徒会テーマは、universeです。宇宙のように幅広い場所で個性を発揮することや、宇宙にあるたくさんの星のようにそれぞれの個性を活かしてほしいという意味になっています。そして、やまびこ祭のスローガンは、宇宙にちなんで、「Sky is not the limit～さあ、光輝く未来へ進め～」となりました。このスローガンは、空が限界ではない＝輝くためには壁を乗り越えなければならないという意味で、どんな壁があっても宇宙のように無限の可能性を信じて進んでいこうという願いが込められています。



また今年度は、小中一貫校になる前の「八坂中学校」としての最後のやまびこ祭です。全校一人一人が持っている星を輝かすために、本番だけでなく、準備の過程でも大変なことに立ち向かって準備を進めてきました。事前しゃべり場で設定した個人の目標も一人一人意識して頑張ってきました。

生徒会最大行事やまびこ祭を最高の形で終われるように頑張ってきた私たちの成果をぜひご覧ください。

山留の風

育てる会 Tel:26-2306 HP:www.sodateru.or.jp

稲刈り

9月17日(土) ☀

台風が懸念されていた週末でしたが、学園生たちは晴天の中、田んぼの稲刈りを実施することが出来ました。

活動前ミーティングでは、4月の田起こしから始まった田んぼでの作業を振り返り今回の作業は命を削る大事な工程であることを確認しました。センターでの稲刈りはすべて手作業で行います。まずは、センターの田んぼに到着すると、鎌の使い方や作業の進め方を聞き、ケガのないよう注意しながら稲刈りをスタートしました。



稲刈りをする学園



結束をする学園生

小学生を中心に稲を刈り、その刈った稲を中学生が中心となって結束していききました。鎌が斜めに入らないように意識しながら刈っていく小学生たち。腰を落として作業には体力を要しますが、集中して取り組む姿がありました。また中学生も小学生の稲刈りスピードに後れを取らないよう、黙々と結束していききます。藁を使って結束していくので、指を痛める学園生も出てきましたが、「まだできるよ!」と張り切って取り組んでいました。結束が進んできたところで、力のある中学生たちは稲架掛けの作業に移ります。重いはげ棒を運び、それらの設置が終わると、結束された稲をどんどんかけていきます。1枚分の稲刈りはお昼過ぎまでかかりましたが、無事すべて終わることができました。頑張った取り組んだあとの風食は一味違いかわりする学園生が多くいました。

むらまつ 村松 ぎょうそう 恭三さん まき 真希さん(野平中)



今年の3月に栃木県から野平定住促進住宅へ引っ越してきました。以前は東京でエンジニアの仕事をしていました。満員の通勤電車や都心の人込みで疲れる毎日でした。自然が多く、水や空気のきれいな所で生活したいと思い前職を辞め、移住先を探している時にキャンプで訪れた大田市を素敵なお所だと感じました。

お試し移住体験を経て大田市への移住を決定し、入居先を探していた時に定住促進住宅を知ったので応募したところ、入居が決まりましたのですぐに引っ越してきました。



仕事の方は、自然の中で体を動かして働きたいと思い今年の4月から森林組合にて林業をしています。節電で消灯したオフィスで食べる昼食と比べて、自然の中で北アルプスを眺めながら食べるお弁当は最高に美味しいです！

野平で生活を始めていろいろ新しいことを始めたいと思い、プランターで野菜を育てたり、原木シイタケを始めたり、DIYしてみたり、充実した毎日を送っています。近所の方たちから野菜をいただくこともあり、いつも美味しくいただいています。ありがとうございます！

今後は登山やスキー・スノーボード等も始めてみたいと思います。まだまだ大田市の知らない所がたくさんあるので、いろいろな場所へ行ってみたいと思います。

はじめての長野県生活で不慣れな所もありますが、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

編集後記

収穫の秋を迎えています。新米、そば、きのこ、果実、野菜、丹精込めて育ててきた生産者の皆さん、また美味しくお料理してくれる皆さんのおかげで、食卓が彩り、肥える秋になっています。改めて皆さんに感謝いたします。

行動制限のあった三年間、一生産者として自粛のない労働の喜びを感じながらも、たまには農休みがあっても良いのになあと思います。

しかし、地域のお祭りは自粛や縮小され、一同が集まっていた作業や飲食ができないのが現実です。楽しみにされていた敬老会やふれあい運動会も残念ながら中止となってしまいました。一日も早く終息して、従前の生活に戻ることを願っているとありますが、新型コロナウイルス患者数は増減を繰り返しています。

収束しているときに積極的に出掛けたり、対策してイベントに参加するウィズコロナが今後も続きます。

結びに、寒い冬を快適に過ごすため、暖房器具は事前に点検をして安全に使用しましょう。

切久保地区編集委員

勝野正巳